

科目名	専門分野				ディプロマ・ポリシー(DP)	DP2 DP3 DP4 DP5			
	老年看護学				担当教員	外部講師 専任(基幹)教員			
	老年看護学領域横断								
履修学年	2年	履修学期	前期	単位数	2	時間数	32		
授業目標	1. ライフステージ(老年期)の発達課題と健康課題に対する支援がわかる。 2. その人の様々な健康状態や健康障害をもたらす苦痛や生活の不自由がわかる。 3. 対象健康状態を条件・状況から読み取りニーズに応じた対応がわかる。 4. その人のライフサイクルにおける健康的な暮らしを創造的にとらえた健康回復に向けた支援がわかる。 5. 手術前後の人生をよりよく生きることへの支援がわかる。 6. 対象の価値観や生き方を尊重し、その人らしく生きることと死にゆくことを支える看護がわかる								
回	学習内容				方法	担当教員			
1 2	1. 健康支援 1) ライフステージと健康課題: パフォーマンス課題導入 (1) 高齢者の発達課題と健康課題 まとめ・ロールプレイ発表				講義 演習	専任(基幹)教員			
3 4 5	2. 健康回復支援 1) パフォーマンス課題の導入(事例学習) (1) 「今の健康状態を読み取り健康的な暮らしに向けた回復への支援」 2) 気づきと解釈のトレーニング(高齢者) (1) KOMI理論/臨床判断の復習 (2) 患者心理の特徴の理解 (3) 経過別看護の特徴と看護の役割理解 (4) 看護に活用する解剖・病態生理・薬理				講義 演習				
6 7	3) 「高齢者が心不全で入院した時の看護」 (1) 健康状態のアセスメントと回復への看護 事例: 70台前半女性、心不全急性増悪で入院 不整脈、高血圧にて内服治療中の在宅高齢者				講義 演習				
8 9 10 11	4) パフォーマンス課題 (1) 「高齢者の在宅復帰に向けた入院中の看護」 事例①80歳代、女性、在宅独居、 大腿骨頸部骨折、内側骨折術後入院中、 脳血管性認知症、既往歴・2型糖尿病、高血圧				講義 演習				
12 13	3. 周手術期の看護 1) 高齢者と手術				講義・演習				
14 15	4. 終末期と看護 1) 緩和ケアの対象者理解と全人的ケア (1) 老年期の特徴 (2) 全人的ケア 2) 死の受容 (1) 高齢者の死の捉え方 3) 家族の苦痛とその緩和 事例「終末期患者の家族看護」				講義 演習			外部講師	
16	試験				試験				
評価規準 評価方法	パフォーマンス課題・筆記試験 100点								
テキストおよび 参考文献	専門分野 老年看護学(医学書院) 専門分野 老年看護 病態・疾患(医学書院)								
履修上の 注意点									